

**2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

 2023年8月7日  
 上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス  
 コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）大倉 俊  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経理部長（氏名）羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

**1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）**
**(1) 連結経営成績（累計）**

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	46,882	2.2	8,781	10.3	8,959	10.2	4,695	0.9
2022年9月期第3四半期	45,892	—	7,959	—	8,127	—	4,653	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 5,450百万円(11.9%) 2022年9月期第3四半期 4,869百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	137.48	—
2022年9月期第3四半期	136.25	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	75,151	50,491	66.6
2022年9月期	76,781	52,384	67.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 50,034百万円 2022年9月期 52,055百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	215.00	215.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	215.00	215.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）**

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,600	0.7	10,700	5.8	10,900	4.7	7,700	1.5	225.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	34,156,623株	2022年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	270株	2022年9月期	270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	34,156,353株	2022年9月期3Q	34,156,386株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年6月30日）

	前第3四半期		当第3四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	45,892	100.0	46,882	100.0	989	2.2
化粧品事業	35,991	78.4	36,600	78.1	609	1.7
医薬・食品事業	8,200	17.9	8,646	18.4	446	5.4
その他の事業	1,700	3.7	1,634	3.5	△65	△3.9

	前第3四半期		当第3四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	7,959	17.3	8,781	18.7	821	10.3
経常利益	8,127	17.7	8,959	19.1	831	10.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,653	10.1	4,695	10.0	41	0.9

当第3四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年6月30日）における景気の動向は、緩やかに回復の動きがみられたものの、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高46,882百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益8,781百万円（同10.3%増）、経常利益8,959百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,695百万円（同0.9%増）となりました。

化粧品事業は、売上高36,600百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益9,326百万円（同9.7%増）となりました。

医薬・食品事業は、売上高8,646百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益1,003百万円（同8.2%増）となりました。

その他の事業は、売上高1,634百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益167百万円（同28.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,630百万円減少し、75,151百万円となりました。主に、現金及び預金が2,303百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ262百万円増加し、24,659百万円となりました。主に、未払法人税等が903百万円、支払手形及び買掛金が327百万円それぞれ増加したことと、固定負債（その他）が878百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,892百万円減少し、50,491百万円となりました。主に、前期末配当7,343百万円による減少と、親会社株主に帰属する四半期純利益4,695百万円により、利益剰余金が2,647百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は66.6%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,303百万円減少し、27,226百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は5,954百万円（前年同期比1,467百万円の収入増）となりました。主に、増加要因として、税金等調整前四半期純利益8,963百万円、減少要因として、法人税等の支払額及び還付額1,894百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は844百万円（前年同期比472百万円の支出増）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出537百万円、無形固定資産の取得による支出315百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は7,411百万円（前年同期比161百万円の支出増）となりました。主に、配当金の支払7,340百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日公表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,747	27,443
受取手形及び売掛金	8,970	9,477
商品及び製品	6,242	6,834
仕掛品	140	152
原材料及び貯蔵品	1,467	1,662
未収入金	3,391	2,354
その他	617	720
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	50,569	48,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,106	4,950
機械装置及び運搬具（純額）	784	794
土地	13,554	13,554
リース資産（純額）	928	866
建設仮勘定	123	0
その他（純額）	195	190
有形固定資産合計	20,692	20,356
無形固定資産		
のれん	209	186
ソフトウェア	119	98
その他	90	425
無形固定資産合計	418	709
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132	3,005
繰延税金資産	1,729	1,308
その他	1,257	1,151
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	5,100	5,444
固定資産合計	26,212	26,510
資産合計	76,781	75,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,935	3,262
リース債務	93	87
未払金	3,197	3,314
未払法人税等	1,085	1,989
賞与引当金	101	54
その他	2,239	2,191
流動負債合計	9,653	10,899
固定負債		
リース債務	912	849
長期預り保証金	12,001	11,667
繰延税金負債	311	593
退職給付に係る負債	514	525
その他	1,003	125
固定負債合計	14,743	13,760
負債合計	24,397	24,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	42,982	40,334
自己株式	△1	△1
株主資本合計	50,300	47,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,278	1,883
為替換算調整勘定	486	504
退職給付に係る調整累計額	△8	△5
その他の包括利益累計額合計	1,755	2,382
非支配株主持分	328	457
純資産合計	52,384	50,491
負債純資産合計	76,781	75,151

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月 1日 至 2022年 6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年 6月30日)
売上高	45,892	46,882
売上原価	13,981	14,503
売上総利益	31,911	32,378
販売費及び一般管理費	23,951	23,597
営業利益	7,959	8,781
営業外収益		
受取利息	6	21
受取配当金	16	21
為替差益	73	—
その他	72	140
営業外収益合計	169	184
営業外費用		
為替差損	—	6
その他	1	0
営業外費用合計	1	6
経常利益	8,127	8,959
特別利益		
固定資産売却益	121	7
退職給付制度改定益	961	—
特別利益合計	1,083	7
特別損失		
固定資産除売却損	5	3
減損損失	310	—
特別損失合計	315	3
税金等調整前四半期純利益	8,895	8,963
法人税、住民税及び事業税	3,095	3,698
法人税等調整額	1,078	436
法人税等合計	4,173	4,134
四半期純利益	4,722	4,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,653	4,695



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月 1日 至 2022年 6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年 6月30日)
四半期純利益	4,722	4,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	604
為替換算調整勘定	535	14
退職給付に係る調整額	119	2
その他の包括利益合計	147	622
四半期包括利益	4,869	5,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,739	5,322
非支配株主に係る四半期包括利益	130	128

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月 1日 至 2022年 6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月 1日 至 2023年 6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,895	8,963
減価償却費	1,051	869
減損損失	310	—
のれん償却額	23	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47	△47
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△4,046	10
退職給付制度移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	1,876	△992
受取利息及び受取配当金	△23	△43
為替差損益 (△は益)	△26	2
固定資産除売却損益 (△は益)	△116	△3
退職給付制度改定益	△961	—
売上債権の増減額 (△は増加)	198	△501
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△402	△790
仕入債務の増減額 (△は減少)	712	331
預り保証金の増減額 (△は減少)	△327	△334
その他	624	328
小計	7,740	7,813
利息及び配当金の受取額	22	35
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,275	△1,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,486	5,954
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△238	△196
定期預金の払戻による収入	238	196
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△512	△537
有形固定資産の売却による収入	207	10
無形固定資産の取得による支出	△66	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372	△844
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△7,165	△7,340
その他	△84	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,249	△7,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	416	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,718	△2,303
現金及び現金同等物の期首残高	30,841	29,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,122	27,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している一部の在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「無形固定資産」の「その他」が29百万円、「流動負債」の「その他」が18百万円、「固定負債」の「その他」が11百万円それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	35,991	8,200	1,636	45,828	—	45,828
その他の収益	—	—	64	64	—	64
外部顧客への売上高	35,991	8,200	1,700	45,892	—	45,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	218	218	△218	—
計	35,991	8,200	1,919	46,111	△218	45,892
セグメント利益	8,502	927	233	9,664	△1,704	7,959

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,704百万円の内訳は、セグメント間取引消去381百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,085百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

売却することとなった施設の土地・建物等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「化粧品事業」276百万円、「医薬・食品事業」27百万円、「その他の事業」6百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	36,600	8,646	1,573	46,821	—	46,821
その他の収益	—	—	61	61	—	61
外部顧客への売上高	36,600	8,646	1,634	46,882	—	46,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	209	209	△209	—
計	36,600	8,646	1,844	47,091	△209	46,882
セグメント利益	9,326	1,003	167	10,498	△1,716	8,781

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,716百万円の内訳は、セグメント間取引消去402百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,119百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。